

泉南中学校

読書の楽しさを共有し、自ら探究する力を育てる学校図書館

今の学校図書館

本校の教育目標は、「主体性のある生徒の育成を目指す・共に学び、よく考える人・自らを律し、思いやりのある人・心身を鍛える人」である。学校図書館においても、自発的学び場としてふさわしいよう、環境においても力を注ぎ、生徒の意見を取り入れながら、生徒の目線を意識し、学校図書館が広く明るく見えるよう、司書教諭と協力しながら配置替えの工夫をした。

昼休み・放課後には図書を借りに来る生徒だけでなく、友だちと一緒に本を囲み、コミュニケーションの場として活用、学習や待ち合わせに来館する生徒も多く、生徒の居場所の一つの役割を果たしている。

学校図書館の運営

- ・読書センター・学習センター・情報センターとしての機能向上を見据えた選書。
- ・授業で図書館の本の紹介を行うことより、読書に親しもうとする態度を育成する。
- ・毎月図書館だよりを発行し、新着本、おすすめの本の情報発信をする。
- ・季節の本の展示、図書委員おすすめの本の展示、授業で使っている本などを展示し、毎日図書館に来るための工夫をしている。

1年間の主な活動

- ・図書館オリエンテーション（1年生入学時）
- ・学校司書おすすめの本と読書記録用紙の配布
- ・職場体験2年生3名受け入れ
- ・授業支援（国語・総合・学びの教室）
- ・場所の提供（学びの教室・個別指導）
- ・授業で行っている本の展示
- ・職業講話会場・職業関連の本展示
- ・人権教育関連の展示
- ・読書支援（味見読書）

特色ある取組

- ・学年ごと順に、朝読書、英語多読、朝日デジタルパスを使用した天声人語の書き写しを行っている。
- ・図書委員による朝読書用学級文庫の選書と管理を行っている。
- ・図書委員活動は、生徒が自発的にアイデアを出し、活動している。前期は給食の時間に本の朗読を行い、読書ビンゴ、本の処方箋を行った。後期は放送委員会とのコラボレーションで、給食の時間におすすめの本の朗読を行った。他に定期テスト2週間前から勉強スペースとして図書館を活用する活動を行う。
- ・毎月の図書館だよりの他に、受験生応援号と題して、全国高校入試出典図書の紹介を行う。また教員のおすすめする本を2号にわたって図書館だよりで紹介する。



※学びの教室 授業

これからの学校図書館

- ・今後は他教科でも、授業で学校図書館を活用できるよう先生方への積極的な働きかけを行っていききたい。そのために誰でも入りやすい、さらに居心地の良い図書館を目指していく。



※ディベートについての調べ学習